



2026年4月6日

各 位

会 社 名 株式会社エス ネットワークス
代 表 者 名 代表取締役社長 高 島 義 紀
(コード番号：5867 東証グロース)
問 合 せ 先 グローバルコーポレート部長 尾 身 修 一
(TEL. 03 - 6826 - 6000)

子会社の異動及び新たな事業の開始に関するお知らせ

当社は、2026年4月6日に、以下のとおり、株式会社サンワロジ（以下、「サンワロジ社」）の株式を取得し、子会社化することについて決定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式の取得の理由

当社グループは、「経営者の支援と輩出を通じて、日本国経済に貢献する」というミッションのもと、変革を志す企業の持続的成長を支援すべく、CFO 領域を中心とした実務実行支援型コンサルティングサービスを提供してまいりました。

コンサルティング事業に加えた新たな成長の軸として、企業への投資と経営人材の派遣を組み合わせ、当社グループが主体となって事業運営を行う取り組みを進めております。具体的には、社会環境や経営環境の変化への対応が求められる業界に属する企業に対してマジョリティを獲得する投資を行い、経営人材の派遣を通じて当社が主体となって事業運営を行うことで変革を実現し、持続可能な構造への転換を目指します。その結果として、投資先企業の業績を向上することにより、当社グループの中長期的な企業価値の向上を図ります。この投資類型を「サステナビリティ投資」と位置付けており、今回のサンワロジ社の株式取得は、その第一号案件として実施するものです。

物流業界においては、電子商取引（EC）の普及等により物流需要が増加する一方で、いわゆる「2024年問題」に象徴されるとおり、ドライバー不足が課題となっております。このドライバー不足の根底には、低待遇を招く低収益構造が存在しており、その要因は主にトラックの積載率および稼働率の低さにあると認識しております。さらに、積載率および稼働率の低さは、顧客である荷主とトラックが1対1で結びつく商習慣に起因していると当社は考えており、このような課題を解決するためには、複数の荷主と複数のトラックを一体のネットワークとして捉え、その最適化を図ることが重要です。

物流事業は、「どの案件を・どの車両に・どの順番で載せるか」といったn対nのネットワークにおける最適な組み合わせを設計することで、収益性が大きく左右される事業です。当社は、これまでCFO領域で磨いてきた「計数とロジックにより最適を設計する力」を活かし、当社自身が事業運営そのものに関与することで、こうしたネットワーク全体の効率化に寄与し得るものと考えております。

このような認識のもと、当社は、対象会社であるサンワロジ社の株式取得を物流業界における事業展開の第一歩と位置付けております。今後、当社グループの知見を活用し、サンワロジ社とともに荷主とトラックの関係を従来の1対1の構造からn対nのネットワークへと転換し、積載率および稼働率を構造的に引き上げることで、物流業界の持続可能性の向上に貢献するとともに、当社グループの中長期的な企業価値向上を図ってまいります。

2. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容

物流事業

(2) 当該事業を担当する部門

株式会社サンワロジを子会社化し、当該子会社において行う予定です。

(3) 当該事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

今回、サンワロジ社の第一段階の株式取得として同社の発行済株式の 59%を取得するにあたり、本件株式取得に要する資金 185 百万円及びアドバイザー費用 38 百万円（概算）の支出を予定しております。なお、株式譲渡契約書において、残りの 41%の株式については、あらかじめ定められた条件に基づき、クロージング後の一定期間における対象会社の業績を踏まえ、段階的に株式取得を行う旨の条項が定められております。詳細は「5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況 (3) 取得価額」をご覧ください。

又、必要な資金については、自己資金で実行することを予定しております。

3. 異動する子会社（株式会社サンワロジ）の概要

(1) 名 称	株式会社サンワロジ		
(2) 所 在 地	大阪府大阪市平野区平野西五丁目 4 番 2 号ダイスタービル 4 階		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 大谷 真治		
(4) 事 業 内 容	貨物軽自動車運送事業、第一種貨物利用運送事業		
(5) 資 本 金	金 300 万円		
(6) 設 立 年 月 日	2024 年 9 月 4 日		
(7) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
(8) 当該会社の最近 1 年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2025 年 8 月期	
純 資 産		4 百万円	
総 資 産		66 百万円	
1 株 当 たり 純 資 産		15,971 円	
売 上 高		279 百万円	
営 業 利 益		1 百万円	
経 常 利 益		2 百万円	
当 期 純 利 益		1 百万円	
1 株 当 たり 当 期 純 利 益		5,971 円	
1 株 当 たり 配 当 金		0 円	

※サンワロジ社は、2024 年 9 月 4 日に設立された為、直近 1 年間の経営成績及び財政状態のみを記載しております。

4. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏 名	売主は個人であるため、非公開としております。
(2) 住 所	売主は個人であるため、非公開としております。
(3) 上 場 会 社 と 当 該 個 人 の 関 係	該当事項はありません。

5. 取得株式数, 取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数: 0個) (議決権所有割合: 0%)
(2) 取得株式数	177株 (議決権の数: 177個)
(3) 取得価額	普通株式 185 百万円 アドバイザー費用等 (概算) 38 百万円 合計 (概算) 223 百万円 尚、株式譲渡契約書において、残り 41%の株式については、あらかじめ定められた条件に基づき段階的に取得することが定められており、当該取得対価は各取得時点における条件の充足状況に応じて確定します。当該条件が充足された場合の取得対価の合計額は最大で 131 百万円となる予定であり、条件が充足されない場合には、当該取得対価が発生しない可能性があります。
(4) 異動後の所有株式数	177株 (議決権の数: 177個) (議決権所有割合: 59%)

6. 日程

(1) 取締役会決議日	2026年4月6日
(2) 契約締結日	2026年4月6日
(3) 株式譲渡実行日	2026年4月24日 (予定)

7. 今後の見通し

本件が、2026年12月期の連結業績に与える影響は、現時点では軽微であると見込んでおりますが、今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

(参考) 当期連結業績予想 (2026年2月13日公表分) 及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2026年12月期)	百万円 3,936	百万円 400	百万円 376	百万円 245
前期連結実績 (2025年12月期)	3,418	306	336	217